

静岡文化芸術大学 平成 27 年度 年度計画 用語解説

(五十音順)

用語	解説
ICT (アイシーティー)	(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略であり、日本語では一般に「情報通信技術」と訳される。
アウトソーシング	外注、外製(がいせい)ともいい、企業や行政の業務のうち専門的なものについて、それをより得意とする外部の企業等に委託すること。
アドミッション・ポリシー	大学の入学者受け入れ方針。自校の特色や教育理念などに基づき、どのような学生像を求めるかをまとめたもの。
インセンティブ	給料形態の一つで、業務の成果や実績に応じて給料や賞与などを変動させる制度のこと。「インセンティブ制」や「変動賞与制度」とも呼ばれている。
インターンシップ	学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来希望する職業に関連した就業体験を行うこと。
SD (エスディー)	(スタッフ・ディベロップメント) 教員に加え事務職員や技術職員など、教職員全員を対象とした、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組
SA (エスエー)	(ステューデント・アシスタント) TA(下記参照)とは区別して、大学院生でなく、学士課程の学生を教育の補助業務に携わらせること。
FD (エフディー)	(ファカルティ・ディベロップメント) 教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。
学術リポジトリ	大学等の研究機関において生産された電子的な知的生産物を収集・保存、原則無料で公開発信するためのインターネット上のシステム
カリキュラム・ポリシー	教育の実施に関する基本的な方針
CAP 制(キャップ制)	単位の過剰登録を防ぐため、1年間あるいは1学期間に履修登録できる単位の上限を設ける制度。 我が国の大学制度は単位制度を基本としているが、大学設置基準上1単位は、教員が教室等で授業を行う時間に加え、学生が予習や復習など教室外において学習する時間の合計で、標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されている。また、これを基礎とし、授業期間は1学年間におよそ30週、1学年間で約30単位を修得することが標準とされ、したがって大学の卒業要件は4年間にわたって124単位を修得することを基本として制度設計されている。 しかしながら、学期末の試験結果のみで単位認定が行われるなどの理由から、学生が過剰な単位登録をして、3年で安易に124近くの単位を修得し、結果として45時間相当に満たない学習量で単位が認定されているという現象が生じたことから、平成11年に、大学設置基準第27条の2第1項として、「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるように努めなければならない」と規定された。
サバティカル制度	大学などで、研究等のため、長期間付与される有給休暇
GPA 制 (ジーピーエー)	(グレード・ポイント・アベレージ) アメリカにおいて一般的に行われている学生の成績評価方法の一種。一般的な取扱いの例は次のとおりである。 ①学生の評価方法として、授業科目ごとの成績評価を5段階(A、B、C、D、F)で評価し、それぞれに対して4・3・2・1・0のグレード・ポイントを付与し、この単位当たり平均(GPA)を出す。 ②単位修得はDでも可能であるが、卒業のためには通算のGPAが2.0以上であ

用語	解説
	ることが必要とされる。 ③3セメスター（1年半）連続してGPAが2.0未満の学生に対しては、退学勧告がなされる。（但し、これは突然退学勧告がなされるわけではなく、学部長等から学習指導・生活指導等を行い、それでも学力不振が続いた場合に退学勧告となる。） なお、このような取扱いは、1セメスター（半年）に最低12単位、最高18単位の標準的な履修を課した上で成績評価し、行われるのが一般的である。
障害者差別解消法	この法律は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や、国の行政機関、地方公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めており、平成25年6月26日に公布され平成28年4月1日施行。
新学習指導要領	新しい学習指導要領は、子どもたちの現状をふまえ、教育基本法で明確となった「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視したものとなっている。小学校：平成23年4月～、中学校：平成24年4月～、高等学校：平成25年度入学生から（数学及び理科は平成24年度入学生から）
大学入学希望者学力評価テスト	大学入学者選抜においては、現行の大学入試センター試験を廃止し、大学で学ぶための力のうち、特に「思考力・判断力・表現力」を中心に評価する新テスト
チューター制	大学において、大学院生等が学士課程の学生への学習助言を行う制度。
多文化共生社会	複数の他者の民族、他者の文化の相互承認と共存が可能になっている社会の状態のことである
TA (ティーエー)	(ティーチング・アシスタント) 優秀な大学院生に対し、教育的配慮の下に、学部学生等に対する助言や実験、実習、演習等の教育補助業務を行わせ、大学院生への教育トレーニングの機会提供を図るとともに、これに対する手当ての支給により、大学院生の処遇の改善の一助とすることを目的としたもの。
ディプロマ ・ポリシー	卒業認定・学位授与に関する基本的な方針
TOEIC (トイーック)	Test of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであり、世界約60ヶ国で実施されている。
PDC Aサイクル	事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。
ユニバーサル ・デザイン	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。
W i F i (ワイファイ)	無線でネットワークに接続する技術（無線LANの規格のひとつ）

※ 文部科学省資料、本学資料のほか、インターネットから作成